

サトイモ疫病の発生について！

令和 2 年に県下の一部サトイモほ場にて疫病の発生が確認されました。

収穫前にほ場で疫病の発生の有無を調べ、発生が確認された場合は、他ほ場の収穫物が病原菌に汚染されないように注意してください。

1 病 徴

葉では、褐色楕円形の斑点が発生し、病斑部が拡大すると褐色の同心輪紋のある大病斑となります（図 1、図 2）。病斑がさらに拡大すると病斑同士が繋がり大きな病斑となります（図 3）。

葉柄では、はじめシミ状の黒褐色斑が見られ、病斑が拡大するとこの部分から折れて葉が垂れ下がる症状となります（図 4）。疫病の発生が激しい場合は図 5 のように茎葉が早々に倒伏します。

2 病原菌

本病は、サトイモ疫病菌 (*Phytophthora colocasiae*) によって発病し、病原菌は、糸状菌の一種で卵菌類に属しています。本菌は、10～35℃で生育し、27～30℃で最も良く増殖することから、夏期に曇雨天日が続くと急激に蔓延します。また、病斑部には遊走子のうを形成します（図 6）。

3 類似症状を示す汚斑病

サトイモ汚斑病は、古い葉に淡褐色円形の病斑を形成します（図 7）。しかし、本病は葉のみに発生し、葉が枯死することはありません。

4 写 真



図 1 葉の病斑



図 2 葉の病斑（拡大）



図3 拡大した病斑



図4 葉柄の症状



図5 発病ほ場

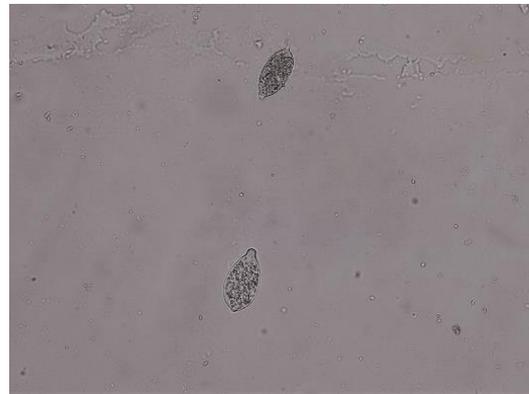


図6 病原菌（遊走子のう）



図7 類似症状を示すサトイモ汚斑病

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。

農林水産消費安全技術センター

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。

岐阜県病害虫防除所

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>